

2017春闘勝利に向け 各地で行動展開される!

各地方本部書記長会議開催 3月11日



国労東日本本部は3月11日に各地方本部書記長会議を開催し、2017春闘をはじめとした当面する課題に向けて意思統一を図ってきました。会議は宮崎副委員長の司会で始まり、東日本本

国労東日本本部は、第34回拡大委員会で承認された方針に基づき、2017春闘について、2月13日に統一要求額15,000円の賃金引き上げをはじめとする10項目の要求を会社に申し入れ、2回の交渉を経て、3月15日の第3回交渉でベア回答が示されました。今号では、この間の各地方で行われた春闘の取り組み及び、JR30年を問う「国労全国安全キャラバン」の取り組みについて報告をします。

部を代表して菊池委員長から「東日本大震災から丸6年が経過をした。3月18日に福島県民集会、20日には東京でも集会在開催される。反原発・脱原発など、国民的な課題と結合させて2017春闘を闘い抜こう」と挨拶。佐藤書記長から、2017春闘の交渉状況と闘争態勢の強化、組織の強化・拡大の現状及び新規採用者対策や関連労働者の組織化についての報告や、「労働条件に関する協約」改訂に向けた闘い、会社施策の検証を踏まえた改善要求等の扱

いについて提起しました。また、JR30年を問う「国労全国安全キャラバン」についてや、戦争法廃案、脱原発、辺野古新基地建設反対、労働法制改悪反対などの闘いの強化を提起し、地方から報告がされました。「組織強化拡大交流会」などを開催して組織拡大を全体の取り組みとして努力している。「エール」制度で通勤できない職場1箇所のみを提示され断念。結果的に首切りになっている。地方の実態を本社に訴えて改善してほしい」「JESS

の支店交渉について引き続き本社に求めて欲しい」「オスプレイが2機訓練で飛来している。断固阻止の闘いを」「安保法制違憲訴訟に東京地本で50名が原告団として参加している」などが出されました。2017春闘の取り組みについては、15,000円の賃上げと10項目の要求実現に向けて全体で努力するとともに、JR貨物に対する「18年連続のベアゼロは許さない」決意を込めた要請行動を、全力で取り組むことを意思統一しました。

集会の第一部として、「JR発足30年、国鉄は国民の手に返ってきたのか」をテーマに東北労働講座が行われました。講師の環境経済研究所・上岡直見氏は、分割・民営化直前に政府が約束した地方の苦しい実情を具体例を挙げながら問題を明らかにしました。最後に「マインナスの部分もしっかりと指摘し、見続けていきたい」と利用者の立場で目を光らせることと、労働組合にもそうした立場からしっかりと闘うことを要請しました。第二部として国労東北総決起集会在行われ、主催者を代表し、東日本本部・菊池忠志委員長と東北協議会・佐々木力議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢とJR会社の動向、国労の取り組み、17春闘勝利と諸課題の前進、そして闘いを通じて新しい仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えました。その後、来賓あいさつを受け、東北三地本の各



代表と東北貨物協議会議長から、それぞれ力強い決意表明を受けました。集会后に参加者は4隊列に分かれて仙台市内をデモ行進。賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げました。また、集会の前段に仙台支社前と仙台駅東口において早朝チラシ配布行動が取り組まれました。チラシには「17春闘勝利」をはじめとして「格差社会をなくそう」「反原発・反基地・護憲」「改憲・戦争反対」「車両のアスベスト含有問題」など多くの課題と要求を掲げ、広く市民にアピールしました。(仙台地本発)



組合員の購読料は(組合費に含まれます)
港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

No. 790 定価 20円
2017年 3月24日

つながよう
技術と魂と
運動を
QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

国労東北 総決起集会 3月3日 開催!

3月3日、仙台市内において国労東北総決起集会在開催され、361人の仲間が結集しました。

JR30年を問う!

国労全国安全キャラバン

2/25 新潟

新潟地本では全国安全キャラバン行動について、2月25日に新潟駅前で、街頭宣伝行動とチラシ配布を実施しました。当日は朝に雪が降り、厳しい天候での宣伝行動でしたが、13名が参加しました。

街頭宣伝行動では、国鉄からJRになって今年で30年。JR各社が、どう変わったのか、安全が守られているのか、様々な問題について訴えました。非常に寒く手が冷たくなる天候状況の中、市民の方々が受け取ったチラシを読んでいる光景が見られ、精力的に宣伝行動、チラシ配布を取り組みました。

街頭宣伝行動の終了後に、会場を新潟地方本部事務所に変えて「全国安全キャラバン行動・新潟

集会」を開催しました。集会では、斉藤委員長から「全国キャラバン行動から地域の変化などを検証していく。新潟においても、羽越線『特急いなほ』の脱線や飯山線の大根原踏切死亡事故、昨年12月に発生した信越線の塚の目踏切で高校生が列車に衝突し亡くなったことなど事故が多発している。安全に関わる職場の問題点などの報告、議論の場に」と挨拶がありました。

東日本本部・渡辺執行委員からは、JR東日本の事故の発生状況やJR各社の現状、地方ローカル線の実態などが報告されました。特にJR北海道の深刻な経営状況や自力で復旧・復興が厳しい実態が報告されました。そして「職場の労働環境が大きく変わってきている。組合員が集まる努力をすることで、そこから知恵が出てくるのではないかと」と結ばれました。

午後からは拡大地方委員会を開催し、職場の問題を含めた報告などを行

JR30年を問う!

国労全国安全キャラバン

2/25 水戸



(新潟地本発)

水戸地方本部は、2月25日に水戸地本会議室で「JR30年を問う! 国労全国安全キャラバン水戸集会」を開催しました。地本を代表して塚原委員長から「JR30年を振り返って、出向を伴う外注化施策が拡大している。とりわけ貨物会社で

は中期経営計画で鉄道部門の黒字化へ全系統に合理化を進められている。輸送障害、重大事故が発生する背後要因は効率化、外注化に伴う技術継承がされず、要員補充がない中で作業が進められていることにある。労働条件の改善と安全・安定輸送を一体として若手の意見を吸いあげ、巻き込み、要求を作り、組織拡大に結び付けていく」と挨拶がありました。

東日本本部・樋口執行委員からは「2月13日にJR東日本へ賃金改善要求を提出。昨年の経験

を踏まえて対策を進めている。各地本の行動に積極的に関わりながら春闘の高揚を図りたい。2月9日に第1回「労働条件に関する協約改訂」交渉を行い、集中した議論を行ってきた。会社施策の検証を踏まえた改善要求の実現に向け努力する。JR東日本で多発する重大事故に対し既に申を出して改善を求めている。JR発足30年が経過した今の実態をしっかりと検証

して安全・安定輸送を確立することが重要」と情勢報告がありました。その後、各協議会からの報告を受けました。「設備部門におけるメンテナンスの再構築」で専門特化されて15年が経過したが、技術継承は進まず輸送障害が多発。労働災害が増大し安全・安定輸送が脅かされている」(工務協議会)

「会社は事故が発生する度に事故対策、教育訓練を行うが事故は再発する。技術力・判断力の低下。外注化・業務委託化が進んでいるが要員不足で安全確保が難しくなっている」(電気協議会)

「駅の要員合理化、窓口廃止で利用者のサービス低下をもたらしている。JESSで働く社員が増え、若手プロパー社員を巻き込み交流、学習会を行っている。車掌は団体作業から個人作業に変化し、売上が重要視され安全・安定輸送が軽視されている」(運輸協議会)

「運輸事業の整備費や人件費コスト削減競争で、

公共交通機関の安全性は足元から崩れた。動力乗務員は不規則な勤務となり、効率化のみが優先される『新しい乗務員の勤務制度』で労働条件は悪化。『食う・寝る・トイレ』の改善を。偽装請負やプロパー社員の教育・養成は解消されていない」(運転協議会)

「設備や人件費の抑制でJR最低の労働条件・人件費である。退職者や2年間の採用なしで欠員の状態。65歳以上の嘱託社員が増加しているがそうしないといけない」(貨物協議会)

最後に赤沼書記長が「23年前の3・30事故の教訓を風化させないため今年も取り組みを行う。職場総点検運動の強化を提起し、分会・班からの要求にしている。組織拡大に向け、本日の集会を我々の運動を通して若い人に伝え、放射線問題ではグループ会社に働く仲間も安全キャラバンと結合していく」とまとめを行い、集会を終了しました。(水戸地本発)



アフラック
最新のがん保険、
新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

NEW/

新生きるための
がん保険 Days

女性特有のがんにも
手厚い

NEW/

新生きるための
がん保険 Days

はじめてダック

●商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日